

問 技術革新創造部創設を

答 組織体制を検討したい



創政会 秋田 裕三

問 産業育成の面から技術革新のノウハウをまとめ民間企業、商店を活性化するためには技術の創造機構をつくり行政から支援するシステムを作る必要があります。国際化の時代は内にこもる政策では停滞します。林業農業を守るだけでなく2次

3次4次産業育成への政策変更を求めます。太陽光発電を家庭に取り込む施工の奨励、エコカー購入の奨励補助、起業基金の補助など企画部を中心として事業育成部門を創設されてはいかがか、市長の見解は？産業面でのビジネスアイデアのハローワークのようなものを。



エコカー

市長 3次、4次産業の育成については国県の施策を見極めながら市が推進すべき施策を検討したい。

問 地域産業発展の施策を発案し組織体制を今後検討したい。

市長 現在検討中の公共交通ですが、もしもバス、おも

いやり号、スクールバス利用の不備な部分の改善計画はあるのか伺います。また、予約によるデマンド方式の導入を検討できるか伺います。

企画部長 デマンド方式も視野に入れ検討したい。

問 前市長から田路市長に代わられても学校の適正規模について方向性は同じか、時期は。

市長 平成20年8月に作成された「しそのこと

も生き生きプラン」の基本目標として、平成23年からの新学習指導要領の改正を踏まえ、その方向性は同様であります。時期に付きましては、具現化の条件が整った校区より順次進めさせていきたい。

問 市民共通の望みである医師不足への対応策と現状の見通しは。

市長 地域医療について医師確保は当分の間、厳しい状況であると思われ

医師派遣の医局への要請、若い医師が魅力を感じる研究体制の充実、縁故知人を通じた確保などさまざまな働きかけをしています。病院、健康福祉部で市内出身の医師情報を集め今後の医師確保に活用できるように市役所全体で取り組んでいます。

関連質問 (木藤幹雄) 企画部で検討してきた公共交通の結果は。時期は。

企画部長 29号線を幹線としたルートと千種線。7月末に地域公共交通会議に報告したい。

